

# 府立なにわ高等支援学校



テーマ: 教科学習におけるキャリア教育の充実

## 概要

高等部1年生の数学科の授業を対象にキャリア教育の視点を生かした授業づくりの支援を行いました。「やりぬく経験を増やし、豊かな人間性をはぐくみ、自己選択、自己決定できる生徒を育てる。」とする教育目標と在校生、卒業生の実態を踏まえ、教育活動全体におけるキャリア教育の充実に向けて取り組みました。まずは、一つの単元にキャリア教育の観点から授業改善を始め、最終的には年間の授業でキャリア教育の観点を見直すことを目的とし、全体会ではキャリア教育について共有しました。研究授業では、キャリアプランニング・マトリクス(試行版)を活用して、キャリア教育を通して育てたい基礎的・汎用的能力について目標を設定し、研究協議を実施し、授業後の子どもたちの変容や各教科のどの場面でキャリア教育の観点に基づいた取り組みを取り入れることができるか、等について共有を図りました。

## 実施

### スケジュール

### Research

7月7日(木) 打合せ

### Vision

9月12日(月) 全体会

### Plan

9月下旬~ 学習指導案の作成・検討

### Do

11月10日(木) 事前授業・授業後の協議

11月24日(木) 研究授業・研究協議

### Check & Act

12月上旬~ アンケート集約

## 全体会

9月12日(月)「キャリア教育と職業教育」について

支援教育推進室指導主事より(以下資料より抜粋)

キャリア教育と職業教育のそれぞれの定義について説明をしました。職業教育もキャリア教育の一つということを共有しました。キャリア教育を通して必要な資質・能力(基礎的・汎用的能力)の育成において、具体的な目標設定(めざす生徒像、学校教育目標等)におけるポイントとキャリア教育を進めるに当たっての課題について講義をしました。

**キャリア教育とは**

キャリア  
人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見出していく過程や積み重ね

キャリア教育とは  
一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促す教育

キャリア発達  
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく過程

今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の指針について(案)より、中央教育審議会 平成27年11月

**職業教育とは**

人は、専門性を身に付け、仕事を持つことによって、社会とかわかり、社会的責任を果たし、生計を維持するとともに、自らの個性を発揮し、誇りを持ち、自己を実現することができる。仕事に就くためには、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度だけではなく、それぞれに必要な専門性や専門的な知識・技能を身に付けることが不可欠である。このような、一定又は特定の職業に従事するために必要な知識、技能、能力や態度を育てる教育が「職業教育」である。

中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の指針について」(案)より、(平成27年11月1日)

**基礎的・汎用的能力**

人間関係形成・社会形成能力  
自己理解・自己管理能力

基礎的・汎用的能力

課題対応能力  
キャリアプランニング能力

「キャリア教育における基礎的・汎用的能力の育成に関する調査研究報告書」 国立教育政策研究所

**キャリア教育と職業教育**

キャリア教育

自立活動  
総合的な学習(探究)の時間  
特別の教科 道徳  
特別活動  
各教科における学習  
職業教育

**まとめ**

さまざまな学びが卒業後の子どもたちを支える

基礎知識 特別活動  
道徳 各教科  
特別活動  
総合的な学習(探究)の時間

あ！OOの時に習ったことを使おうと出さなくてもいい

今、学んでいることは将来につながるものがある

学びが結びついて、社会で生活していく力を培う

**「キャリア教育」の課題解決に向けて**

- ・「キャリア教育」についての共通理解  
→ 「目的」と「手段」をまちがえない
- ・生徒に付けたい資質・能力の具体化と焦点化  
→ 生徒が分かる言葉で表わせる
- ・各教科における「キャリア教育」の取り組み  
→ 行事の下請けにならない工夫を
- ・教育課程や年間指導計画、シラバスの見直し  
→ 教科・学年間のつながりを持たせる

研究授業

学年・教科： 第1学年 「数学科」

単元名： 「小数」

生徒の実態から「数学科」の単元目標と評価規準を設定し、「教科学習におけるキャリア教育の充実」という研究テーマに基づいて、キャリアプランニング・マトリクス(試行版)から本単元で育成するキャリア教育の観点が見された学習指導案を作成し、授業を実施しました。

研究協議のポイント

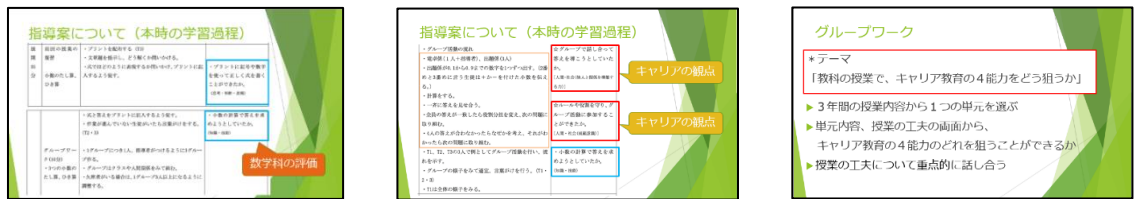
本時では人間関係形成・社会形成能力の育成に焦点化し、今まであまり実施していなかったグループワークの時間を設定しました。S.Tの教員が各グループのファシリテーターとして、コミュニケーションを促進する等、指導・支援の工夫をしていました。今回の授業を通して、教科の評価規準とキャリア教育の観点を設定し、評価することで生徒たちのこれまでになかった一面を見ることができました。

研究協議は、各教科の様々な場面において、キャリア教育の観点が含まれていることに気付き、生徒に必要な資質・能力の基盤を築くことができるよう、自立に向けた具体的な目標設定の在り方を教員間で共有することを中心に行いました。

成果

研究協議より

授業者からは、「キャリア教育の観点で授業の指導内容を工夫することで、これまでに気付くことができなかった生徒の成長や課題に気付くことができた。」等、授業の工夫や今後の課題等を含めた成果を発表いただきました。その後、各教科担当者に分かれての協議を通して、各教科でどの場面でキャリア教育の観点から取り組むことができるか、等について共有を図りました。

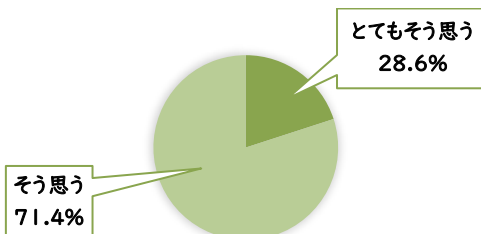


なにわ高等支援学校 研究協議資料より

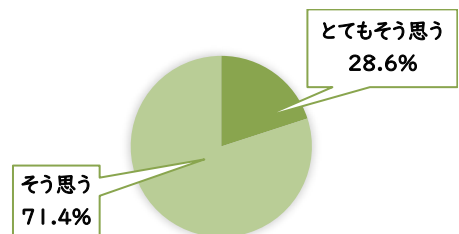


アンケート結果

① 学校のニーズにできていた



② 今回の成果を継続的に生かしていく



(感想やご意見より)

- ・ 指導案と向き合うことがあまりなかったので今回はとても勉強になりました。
- ・ 校内の研修について時間があれば全教科の意見を聞き、授業改善の参考にしたかったです。
- ・ 研究授業の授業者もこれまで気付いていなかった視点を知ることができ、授業力向上につながったと感じました。また、最後の研究協議では、各教科が今回のキャリア教育の視点で自身の授業を見つめ直してみるきっかけになったのではと思いました。
- ・ パッケージ研修に関わった教員の意識改革につながったと感じる。
- ・ 授業内容について授業者以外の複数の教員もキャリア教育を念頭に置いて検討することができた。